

## 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

配置学科	担当教員名	科目名	履修学年	時間数	講義内容
児童福祉学科	室崎美佐子 小合明美 西原嘉子 太田修平	保育実習Ⅰ	2	180	保育所での保育士および実習生指導の経験がある教員、児童福祉施設で指導員および実習生指導の経験がある教員が現場経験を生かして、実習現場で保育士として勤務する現場指導者と連携しながら、保育所、児童福祉施設における保育士の専門性、役割や機能を理解させると同時に子どもへの理解や職員間のチームワークのあり方を模索させ、理論を実践の場で具体化することを目的に、利用児や園児の観察の仕方、関わり方など、体験を通して理解できるように指導する。
児童福祉学科	室崎美佐子 小合明美 西原嘉子	保育実習Ⅱ※ ※保育実習Ⅱまたは 保育実習Ⅲを選択	2	90	保育所での保育士および実習生指導の経験がある教員が現場経験を生かして、実習現場で保育士として勤務する現場指導者と連携しながら、実際の保育現場において保育実習Ⅰを基礎として、次のことについて指導する。保育の基本的なことへの理解を深め、子どもにとっての良い環境づくりを学ぶ。具体的な課題を理解し、解決にむけて努力しようとする力。諸教科で学んだ理論との関連性を見出し、知識や指導技術をさらに深める。保育士としての職業倫理と子どもの最善の利益について学ぶ。
児童福祉学科	太田修平	保育実習Ⅲ※ ※保育実習Ⅱまたは 保育実習Ⅲを選択	2	90	児童福祉施設で指導員および実習生指導の経験がある教員が現場での経験を生かして、実習現場で保育士として勤務する現場指導者と連携しながら、保育実習Ⅰで習得した知識・技術や諸教科で学んだ理論を踏まえて、施設養護に携わる保育士としての指導技術や知識の習得、施設の利用児・者と養護内容の実際、施設の持つ全体的養護機能、さらには保育士としての役割や職業倫理について学べるよう指導する。
児童福祉学科	太田修平	施設基礎実習	1	90	児童福祉施設で指導員および実習生指導の経験がある教員が現場での経験を生かして、実習現場で保育士として勤務する現場指導者と連携しながら、障害児（者）との触れ合いを通すことにより、障害児（者）に対して保育士としてどのような関わりができるのかを学ばせ、保育士として、広い視野を持って利用者を支援するための力を養うことを目的に指導する。
児童福祉学科	室崎美佐子 小合明美 西原嘉子	保育所基礎実習	1	90	保育所での保育士および実習生指導の経験がある教員が現場での経験を生かして、実習現場で保育士として勤務する現場指導者と連携しながら、保育所での参加型実習を通して知識・技術を習得させるとともに、保育士の役割、責務について理解させ、また、一日の園生活の流れを知り、子どもの発達やあそび等が学べるように指導する。
児童福祉学科	合計 450時間（保育実習ⅡまたはⅢいずれかのため）				

配置学科	担当教員名	科目名	履修学年	時間数	講義内容
看護学科	山下純子	看護の基本となる実習Ⅰ	1	45	看護師の対象を理解し、健康を支える環境とは何か、また看護とは何かについて理解する。また、看護実践をとおして、看護の役割と責務を理解する中で日常生活援助の重要性を学ぶ。この目的をもって実習できるように看護師として長年の臨床経験を有する教員が看護師として勤務する指導者と連携して支援を行う。
看護学科	岩本美代子	看護の基本となる実習Ⅱ	2	90	入院治療を必要とする対象者の健康の回復を支えるために必要な看護を学ぶ。この目的をもって実習できるように看護師として長年の臨床経験を有する教員が看護師として勤務する指導者と連携して支援を行う。
看護学科	都甲裕美	成人看護学実習Ⅰ	3	135	危機的状況にある人の生命を守り、経過をそった変化をとらえ、回復を支える看護を理解する。この目的をもって実習できるように看護師として長年の臨床経験を有する教員が看護師として勤務する指導者と連携して支援を行う。
看護学科	清水恵子	成人看護学実習Ⅱ	3	135	継続的治療および長期に症状コントロールを必要とする人が、自らの健康と生活をマネジメントしながらよりよく生きていくことを支える看護を理解する。この目的をもって実習できるように看護師として長年の臨床経験を有する教員が看護師として勤務する指導者と連携して支援を行う。
看護学科	有松実里	老年看護学実習Ⅰ	3	90	施設で暮らす高齢者の健康状態および生活状態を理解し、高齢者のQOLを高め個別性に応じた看護を実践できる能力を身につける。また、保健医療福祉サービスについて理解し、多職種の中での看護の役割と援助について考える。この目的をもって実習できるように看護師として長年臨床経験を有する教員が看護師として勤務する指導者と連携して支援を行う。
看護学科	宗次美登理	老年看護学実習Ⅱ	3	90	老年期の特性をふまえ、対象の健康レベルや生活状況を総合的に理解し、対象の個別性に応じた看護が、実践できる能力を身につける。また、実践を通して、保健医療福祉チームにおける看護の役割について理解する。この目的をもって実習できるように看護師として長年の臨床経験を有する教員が看護師として勤務する指導者と連携して支援を行う。
看護学科	山下敬子	小児看護学実習	3	90	子どもの各期の成長発達について理解を深め、健やかな成長発達を促すための子どもとその家庭に必要な看護について学ぶ。この目的をもって実習できるように看護師として長年の臨床経験を有する教員が看護師として勤務する指導者と連携して支援を行う。
看護学科	柴田貴子	母性看護学実習	3	90	妊婦、産婦、褥婦、新生児、乳児の各期の生理的变化をふまえ、対象に応じた看護を学ぶ。また、新しい生命を迎える家族に必要な看護の役割について学ぶ。この目的をもって実習できるように看護師として長年の臨床経験を有する教員が看護師として勤務する指導者と連携して支

					援を行う。
看護学科	岡田麻理子	精神看護学実習	3	90	精神に障がいがある対象者の自立性の回復を支援し、その人の自己実現を支えるための看護を学ぶ。この目的をもって実習できるように看護師として長年の臨床経験を有する教員が看護師として勤務する指導者と連携して支援を行う。
看護学科	定金直美	在宅看護論実習	3	90	地域で生活しながら療養する人々、あるいは障害をもちながら生活する人々それを支える人々を理解し、在宅における看護の方法を実践する。また、社会の動向に関心をもち、在宅看護の役割を理解する。この目的をもって実習できるように看護師として長年の臨床経験を有する教員が看護師として勤務する指導者と連携して支援を行う。
看護学科	双田清美	看護の統合と実践実習	3	90	看護チームの一員の体験や複数患者を受け持つことをとおして、知識・技術・態度を統合し、看護実践力を身につける。また、保健医療福祉チームの一員として他職種との連携の必要性を理解し、責任ある行動がとれる。この目的をもって実習できるように看護師として長年の臨床経験を有する教員が看護師として勤務する指導者と連携して支援を行う。
<b>看護学科 合計 1035時間</b>					
配置学科	担当教員名	科目名	履修学年	時間数	講義内容
介護福祉学科	小淵順子 石川静葉	生活支援技術C (基本介護技術)	1	120	高齢者施設等で介護福祉士として実務経験を有する教員が、介護現場での経験を生かして、介護を必要とする人の状態に応じて適切な介護技術が提供できるよう実践的に指導する科目である。
介護福祉学科	中西貴子 齋藤真智子	生活支援技術D (基本介護技術)	2	60	
介護福祉学科		介護過程展開Ⅰ	1	30	高齢者施設等で介護福祉士として実務経験を有する教員および病院や高齢者施設で保健師として実務経験を有する教員が、介護現場での経験または臨床現場での経験を生かして、介護を必要とする人に対して一連の介護過程が展開できるよう実践的に指導する科目である。
介護福祉学科		介護過程展開Ⅱ	2	30	
介護福祉学科	小淵順子 石川静葉 中西貴子 齋藤真智子 田中いづみ	介護過程展開Ⅲ	2	60	
介護福祉学科	田中いづみ	医療的ケア	2	60	病院や高齢者施設等で保健師として実務経験を有する教員が、臨床現場での経験および看護技術を生かして、医療的ケア及び救急蘇生法の理論と技術習得を実践的に指導する科目である。
<b>介護福祉学科</b>	<b>合計 360時間</b>				